**記者発表資料**

平成２５年１月３１日
東 北 地 方 整 備 局

# 平成24年度「手づくり郷土(ふるさと)賞」に「釈迦内上中通(しゃかないかみなかどお)り「親水公園」(泥沼再生)」の地域活動が選定されました

地域づくりに取組む活動団体等の優れた地域活動を表彰する「手づくり郷土賞」は、今年度で２７回目の開催となる国土交通大臣表彰制度です。（別添資料１参照）

今年度、東北地域からは**『釈迦内上中通り「親水公園」（泥沼再生）』（上中通りため池整備推進委員会）**が選定されました。

この取組みは、大館市釈迦内の上通り町内会及び中通り町内会の皆様が、生活排水等で水質が悪化した泥沼の解消を図るため、住民総出の活動により地域の憩いの場「親水公園」として再生させた取組が高く評価されたものです。

また、今回の選定に伴う認定証伝達式を、**平成２５年２月８日（金）に、受賞地域で開催します。**

## 東北地方での選定箇所

【一般部門】地域の魅力や個性を創出している、社会資本及びそれと関わりがある優れた地域活動が一体となった成果

| | |
|---|---|
| 応募件名 | 釈迦内上中通り「親水公園」（泥沼再生）（別添資料２参照） |
| 応募団体 | 上中通りため池整備推進委員会（委員長　日景 達郎） |

【認定証伝達式】

・日　時：平成２５年２月８日（金）１１：００～（３０分程度を予定）
・場　所：大館市役所　３Ｆ　第１委員会室
・住　所：秋田県大館市字中城２０番地

※国土交通本省においても同様に記者発表しております。
※伝達式当日の取材をご希望の場合は会場の都合がありますので事前にご連絡お願い致します。

発表記者会：宮城県政記者会・東北電力記者会・東北専門記者会・大館市記者クラブ

問い合わせ先
国土交通省　東北地方整備局　代表　０２２－２２５－２１７１
企画部 企画課　　建設専門官　佐野(さの)　智樹(ともき)　（内線３１５６）

# 認定証伝達式出席者名簿（敬称略）

◎上中通りため池整備推進委員会

| | |
|---|---|
| 委 員 長 | 日景　達郎 |
| 副委員長 | 和田　洋一 |
| 副委員長 | 日景　一志 |
| 理　　事 | 工藤　一吉 |
| 理　　事 | 伊藤　毅 |
| 事務局兼会計 | 伊藤　秀夫 |
| 監　　査 | 伊藤　金一郎 |

◎大館市

| | |
|---|---|
| 大館市長 | 小畑　元 |
| 大館市　建設部長 | 丸屋　義明 |
| 大館市　建設部　都市計画課長 | 佐藤　雄幸 |
| 大館市　建設部　都市計画課　課長補佐 | 斉藤　和彦 |
| 大館市　産業部長 | 田畑　政光 |
| 大館市　産業部　地域振興課長 | 飯泉　信夫 |
| 大館市　産業部　地域振興課　課長補佐 | 橋本　俊幸 |

◎東北地方整備局

| | |
|---|---|
| 企画部長 | 森　　吉尚 |
| 能代河川国道事務所長 | 木我　茂 |
| 能代河川国道事務所　調査第一課長 | 小野　輝明 |
| 能代河川国道事務所　大館国道出張所長 | 加納　尚史 |
| 企画部　企画課　建設専門官 | 佐野　智樹 |

資料－1

# 平成24年度 手づくり郷土賞

## 目　的

全国各地において、地域固有の自然や歴史、伝統、文化や地場産業等を貴重な地域資源として再認識し積極的に利活用した、魅力ある地域づくりに成功している事例が数多く見受けられます。

このように、地域の魅力や個性を創出している良質な社会資本及びそれと関わりを持つ優れた地域活動を一体の成果として発掘し、「手づくり郷土賞」として表彰するとともに、好事例として広く紹介することにより、各地で個性的で魅力ある郷土づくりに向けた取組が一層推進されることを目指しています。

## 部　門

### 募集対象

| 手づくり郷土賞（一般部門） | 手づくり郷土賞（大賞部門） |
|---|---|
| 地域の魅力や個性を創出している、社会資本及びそれと関わりがある優れた地域活動が一体となった成果 | これまでに「手づくり郷土賞」を受賞した社会資本又は社会資本と関わりのある活動 を含む成果 |

### 選定のポイント

手づくり郷土賞の選考は、以下の視点に着目して行われます。

**①社会資本の整備・維持管理・利活用にあたっての創意・工夫**
（地域特性を踏まえた整備・維持管理上の工夫、地域資源としての活用・育成 等）

**②地域活動における創意・工夫、取組の独創性**
（新しい発想、住民自ら考え工夫を凝らした取組 等）

**③地域づくりへの成果及び波及効果**
（地域への思いに富んだ取組、地域づくりの枠を越えた効果 等）

**④今後の活動の継続性・発展性**
（住民が長く活動を続けられる仕組み、周囲を広く巻き込む工夫 等）

**⑤他の参考となるような先進性・先導性**

**⑥その他**（上記以外の特に優れた内容）

**⑦社会資本の地域への定着状況**
（地域のシンボルとして広く認識されている、多くの地域住民が日常的に活用 等）

**⑧活動の継続状況**
（規模を広げながら着実に継続している 等）

**⑨活動の発展状況**
（新たな取組を創出している、他地域へ波及している 等）

## 応 募 団 体

社会資本を有効活用し地域づくり等に取り組む活動団体が単体、又は社会資本を管理する地方公共団体（都道府県、市区町村）との共同で応募することができます。

## 選定委員会

委員長：西村　幸夫　東京大学　副学長
荻原　礼子　結まちづくり計画室　代表
齋藤　潮　東京工業大学大学院社会理工学研究科　教授
佐々木　葉　早稲田大学理工学術院　教授
田村　美幸　公共の色彩を考える会　名誉会長
藤吉　洋一郎　大妻女子大学文学部　教授
森反　章夫　東京経済大学現代法学部　教授
中島　正弘　国土交通省総合政策局長

※ 詳細については、国土交通大臣表彰「手づくり郷土賞」ホームページをご覧ください。
（http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/tedukuri/index.html）

資 料 2

# 《一般部門》　上中通りため池整備推進委員会

# 釈迦内上中通り「親水公園」（泥沼再生）
（しゃかないかみなか）

## 親水公園について

この沼は、昔、釈迦内上通り町内会と釈迦内中通り町内会の農業用水のため池として利用されていましたが、３０年前から水田の減少により利用されなくなり、さらには生活排水の流入などにより水質も悪化し、雑草と浮き草が生い茂る「泥沼」になっていました。

これらの問題を解決するため、両町内会では上中通りため池整備推進委員会を設立し、地域の力を集結し活動を続けてきたことにより、地域の問題であった「泥沼」を地域の憩いの場「親水公園」として再生することができました。

### 整 備 前







### 整 備 後








## 地域の活動について

平成 23 年４月には、上通り町内会と中通り町内会の両町内会で「親水公園管理委員会」を組織し、整備した後の親水公園についての維持管理体制も整え、さらに池の崩壊防止の護岸整備や池への落下防止のためにフェンスの設置も実施しており、親水公園を利用する人々への安全対策も十分に配慮された「地域の憩いの場づくり」が実施されています。また、「親水公園」を地域の憩いの場として、さらに活用するため「こいのぼりコンクール」や「釣り大会」、「花火大会」などのイベントの開催や、「桜」「あやめ」「あじさい」などの植栽活動を行って、地域の人が集えるような環境整備活動を行っています。



利用者・地域住民の安全対策のために住民の自らの手で防護柵の設置作業を行っているところです。



公園内に休憩用のベンチとテーブルを設置しているところです。憩いの場として利用されています。



地域の住民で「あじさい」や「あやめ」の植栽活動をしています。きれいな花が咲くといいですね。



「泥沼」から「親水公園」として生まれ変わるまでの経過や作業状況を展示しました。




親水公園の竣工式典では、小学生の皆さんによる太鼓の演奏が行われました。今後も、地域のイベントを行って、地域の憩いの場として利用していきます。




きれいな池に生まれ変わり、釣りをすることも出来ます。世代を超えた交流をすることができ、楽しみが増えました。